

拾い集計

\blacksquare	次
	1.拾い集計の出力2
	出力方法
	拾い集計の対象要素
	集計方法の設定
	拾い集計表の名称
	2.テンプレートの設定
	テンプレートの編集
	テンプレートの項目
	テンプレートの新規作成
	テンプレートの保存・読み込み

更新日:2020/12/04 Rebro2020 SP1対応

1.拾い集計の出力

配管、ダクト、電気、機器器具の数量拾いを行います。拾い出しの結果はExcelファイルに出力されます。



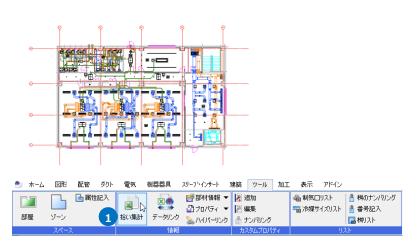
ExcelをインストールしていないPCでは、専用のビューアが起動し、集計表を表示します。

ビューアからは印刷やPDFファイルの保存ができます。



出力方法

1 図面を開き、[ツール]タブ-[拾い集計]を クリックします。



集計する範囲を選択します。 「図面全体を拾う」を選択すると、 図面の全ての要素を対象に集計します。 ※非表示の要素も含めてすべてのレイアウトの要素を集計します。。

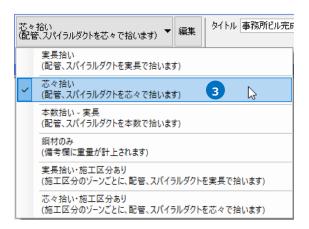
「選択要素の範囲内で拾う」を選択する と、選択した要素を対象に集計します。

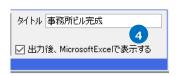
[外部参照ファイルを含む]にチェックを 入れると、外部参照しているレブロ図面 の要素も拾い集計の対象に含まれます。

- 集計方法のテンプレートを選択します。 テンプレートは編集、追加することができます。p.16を参照してください。
- 4 集計表に表示されるタイトルを入力します。初期値では図面名が表示されます。 [出力後、MicrosoftExcelで表示する]に チェックを入れると、Excelを起動して 集計表を表示します。
- 5 [開始する]をクリックします。
- 6 [名前を付けて保存]ダイアログが表示されます。ファイル名を入力して[保存]をクリックします。

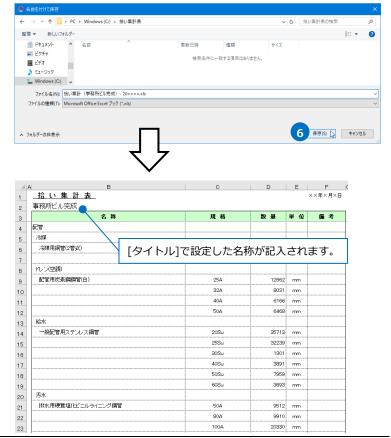
→Excelファイル(*.xls)が保存されます。











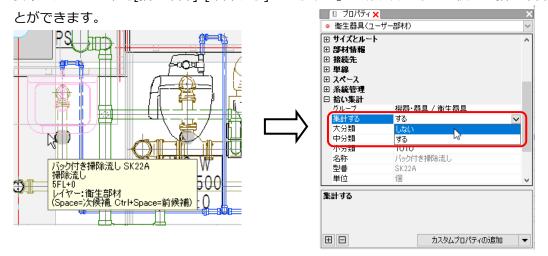
拾い集計の対象要素

以下の要素が拾い集計の対象となります。要素ごとに集計の単位が異なります。

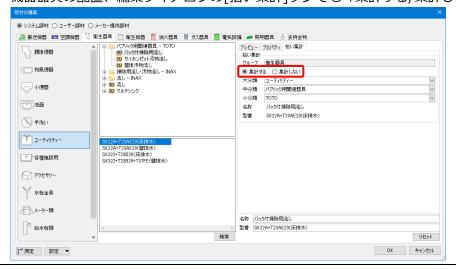
集計要素	集計の単位
配管、スパイラルダクト、円形ダクト、ダンボールダクト	長さ、本数
角ダクト	面積(㎡)
フレキシブルダクト	本数
継手、スパイラルダクト継手、円形ダクト継手	個数
ダクト部材、弁類、機器器具、機器ライブラリ(Stem)	個数
ケーブルラック、ケーブルダクト、レースウェイ、バスダクト、電線管、電気	長さ
配線	
電気部材	個数
鋼材	本数と重量
支持鋼材、支持金具	個数(鋼材に分けて出力も可)
スリーブ、インサート	個数

● 補足説明

要素のプロパティで[拾い集計]-[集計する]を「しない」に切り替えると、個別に拾い集計の対象から外すこ



機器器具の配置、編集ダイアログの[拾い集計]タブでも「集計する/集計しない」を設定できます。



集計方法※材料によって集計方法を選択することができます。(設定方法はp.20~参照)

配管・スパイラルダクト・フレキシブルダクト・配管ダクト・ダンボールダクト

材料ごとに長さを「芯々」または「実長」で集計します。

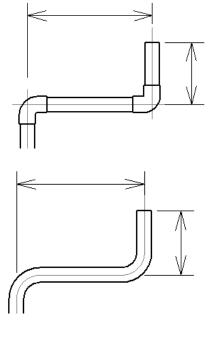
「芯々の長さで集計する」

直管と継手との交点までの長さを集計します。

ポリ管や冷媒などの可とう配管の長さは、直部と直部の中心線の交点までの長さです。

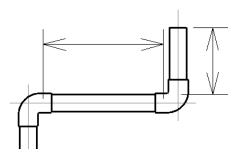
※ポリ管、スプリンクラーフレキ管は長さを10mmピッチで切り上 げして集計します。

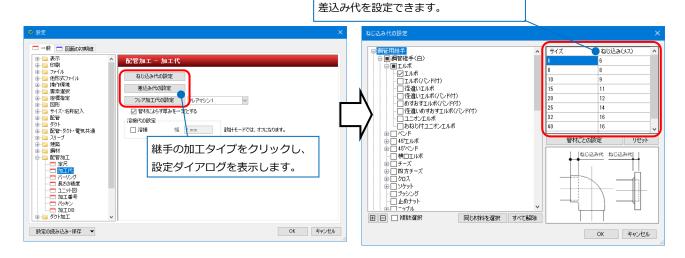
フレキシブルダクトは芯々の長さを10mmピッチで切り上げした本数で集計します。



「実長で集計する」

継手のねじ込み代、差込み代などを含めた配管の長さを集計します。

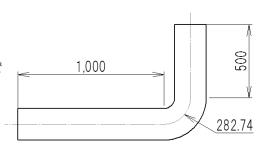




ポリ管や冷媒などの可とう配管の長さは、直部と曲がり部分 の周長を合計した長さです。

※ポリ管、スプリンクラーフレキ管は長さを10mmピッチで切り上げして集計します。

フレキシブルダクトは実長を10mmピッチで切り上げした 長さの本数で集計します。





名 称	規 格	数量	単 位	備考
配管				
冷温水(往)				
可とう管	200A	1782.74	mm	

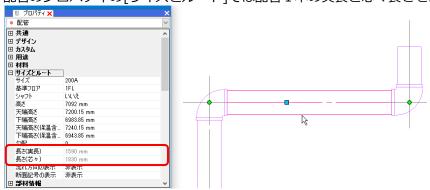
● 補足説明

配管1本の実長は、要素のツールチップから確認することができます。

※ポリ管や冷媒などの可とう配管は、曲がり部分も含めて1本の長さを表示します。

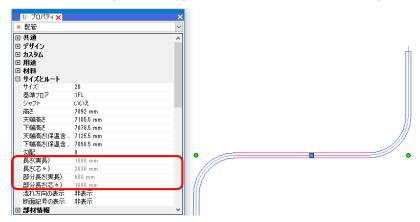


配管のプロパティの[サイズとルート]では配管1本の実長と芯々長さを確認することができます。



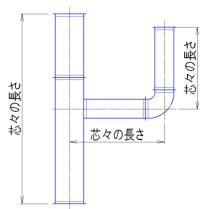
ポリ管や冷媒などの可とう配管は、配管1本の長さ(実長、芯々)と、要素選択をした部分の長さ(実長、

芯々)を確認することができます。

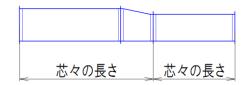


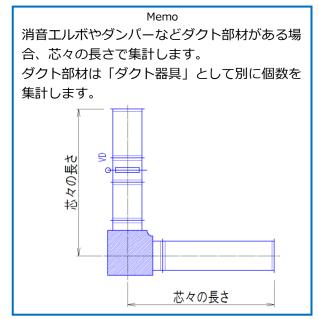
角ダクト

角ダクトは、芯々の長さで板厚ごとの面積(㎡)を集計します。



ホッパーは、大きい方のサイズで集計します。

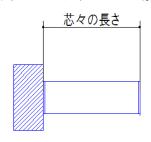




ドン付け、ドン付けホッパーで取り出しした枝ダクトは枝ダクトとメインダクトまでの交点の長さです。

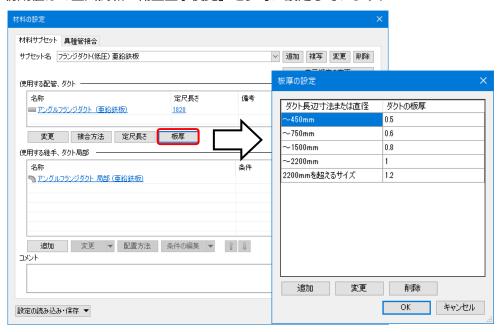


ボックスやチャンバーが接続される場合は、ダクトの端部までが芯々の長さとなります。



名 称	規 格	数 量	単位	備考	
평 가					
給気				角ダクトの	面和
共板フランジダクト					
亜鉛鉄板	0.5mm	12.473	m²		
	0.6mm	10.284	m²		
	0.8mm	2.788			
	1.6mm	0.765	m²		

板厚は[ダクト]タブ-[材料の設定]の[板厚]で、材料サブセットごとに設定できます。 初期値は「空気調和・衛生工学便覧」を参考に設定しています。

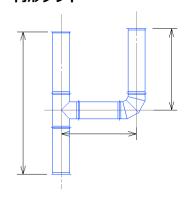


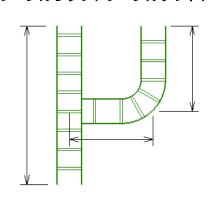
円形ダクト・電気ラック・電線管

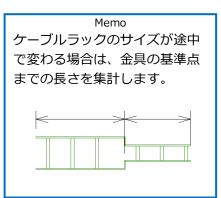
円形ダクト、ケーブルラック、ケーブルダクト、レースウェイ、バスダクト、電線管は芯々長さで集計します。

円形ダクト

ケーブルラック、ケーブルダクト、レースウェイ、バスダクト

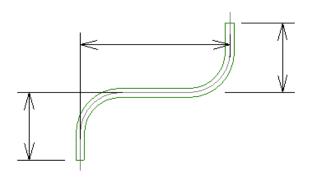






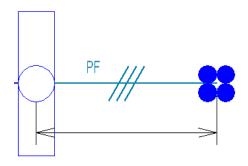
電線管

曲部を含む1本の長さを集計します。



電気配線

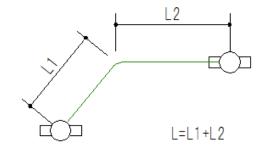
記号の基準点からの配線長さを集計します。



電気配線の集計方法は、「直線で拾う」、「直角で拾う」、「最短で拾う」の三種類から選択できます。 ※設定の選択方法はp.21~を参照

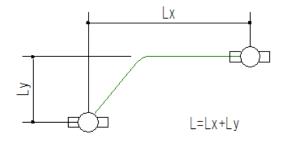
「直線で拾う」

電気配線の頂点間の長さの合計値を集計します。



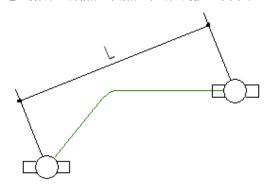
「直角で拾う」

電気配線の頂点長さをX方向、Y方向で計測した長さの合計値を集計します。

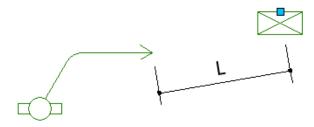


「最短で拾う」

電気配線の始点と終点の直線距離を集計します。



各集計方法に合わせて配線の端部から接続先の盤の基準点までの距離も集計します。 接続先の盤は、配線のプロパティの[配線]-[接続先の盤(始点)/(終点)]で確認や編集が行えます。



「直線で拾う」「直角で拾う」「最短で拾う」のいずれかで求めた長さに、断面距離や配線余長を加えることもできます。

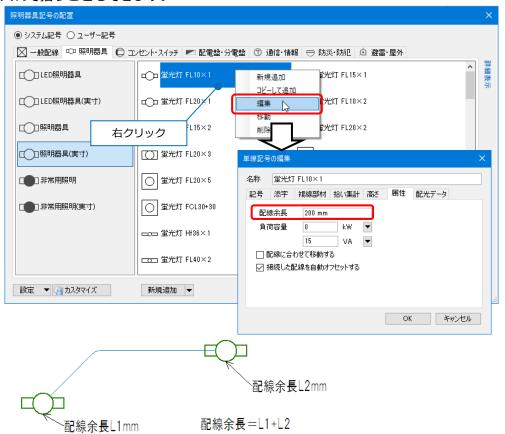
「断面距離」

断面距離とは、配線の端部に単線記号が接続されている場合、それぞれの配線の端部から単線記号までの高低差の合計値をいいます。配線の端部が省略されていても、断面距離は変わりません。



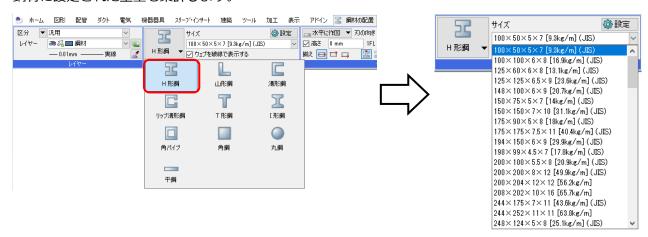
「配線余長」

[電気]タブ-[照明器具][コンセント][スイッチ][盤]などで配置する単線記号に設定された配線余長を長さに入れて拾うこともできます。



鋼材

[機器器具]タブ-[鋼材]で作図した鋼材の種類別に、サイズごとに同じ長さを本数で集計します。 鋼材に設定された重量も集計します。





拾い集計表の名称

拾い集計表に記入される材料名、略号を確認、変更することができます。

配管・ダクト・継手

[設定]-[一般]タブの[配管・ダクト・電気共通]-[材料のプロパティ]で、材料ごとに名称を確認、変更する ことができます。配管、ダクトは「名称」、継手は「通称」「略号」を変更すると、拾い集計表に反映されま す。

配管 □ 一般 □ 図面の初期値 配管・ダクト・電気共通 - 材料のプロパティ 「名称」が反映されます。] ファイル | 他形式ファイル 配管 ダクト 維手 他形式ファイル操作環境要率機能定区標指定区形サイズ・名称記入配管ダクト 配管用炭素鋼鋼管(白) メーカー名 配管 ダクト 電気共元 (日本 ダウト 電気 共元 (日本 ダウト 電気 共元 (日本 英雄) (日本 規格 JIS G 3452 略号 SGP(白) 0.15 mm OK キャンセル ダクト □ 一般 □ 図面の初期値 田 🧰 表示 田 📴 印刷 配管・ダクト・電気共通 – 材料のプロパティ 配管 ダクト 維手 「名称」が反映されます。 タア・ 個子 タードタケト(低圧) 1 日本分 ト (低圧) 1 日本分 ト (低圧) 1 日本の 1 カル リウム 競技 アンルフタット(低圧) 2 共振 アラングタケト(低圧) 2 大様 アラングタケト(低圧) 2 大様 アラングタケト(低圧) 2 大様 アラングタケト(低圧) 2 スパイラルダケト 名称 アングルフランジダクト 略号 FG □ 配管
- タクト・電気共通
- ドロ別則
- 特別の表現
- 特別の表現
- 特別の表現
- サイズ変更
- 技術計算
- 対利のプロパティ
- 設計作図
- 重量 絶対粗度 0.18 mm ── 設計作図── 重量○ 流体重量○ スリーブ○ 建築● 鋼材○ 配管加工 設定の読み込み・保存 ▼ OK キャンセル 継手 💳 一般 🛅 図面の初期値 「通称」「略号」が反映されます。 田·富 表示 由·富 印刷 配管・ダクト・電気共通 – 材料のプロパティ 』 印刷 』 ファイル 』 ファイル 』 ファイル 』 操作環境 』 要標指定 』 中年ズ・名称記入 』 以方・一等等 配管 ダクト 維手 綱管用班手 通称 鋼管維手(白) 綱管維手(白) Memo メーカー名 日立金属(株) ヘルプの「ユーザーズガイド」 規格 JIS B 2301 - 「拾い集計」の「6.継手の略 略号 号について」に略号の一覧を掲 ● □ ペンド ● □ 45°エルボ ● □ 45°ペンド □ 横口エルボ ● □ チーズ 載しています。また、当社HP チーズ 四方チーズ クロス の「資料」でも一覧を公開して います。詳しくはp.15の補足

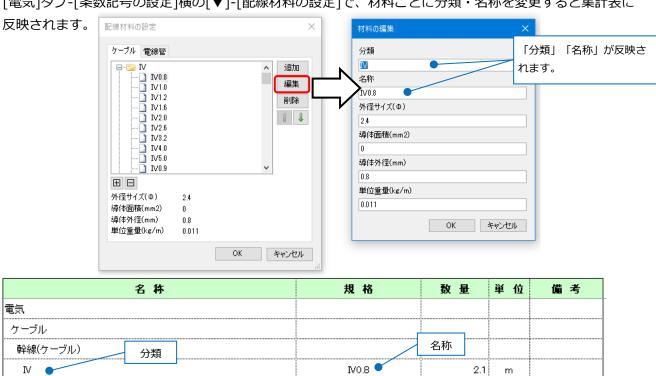
OK キャンセル

説明をご参照ください。



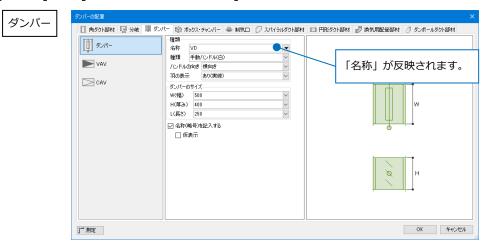
ケーブル・電線管

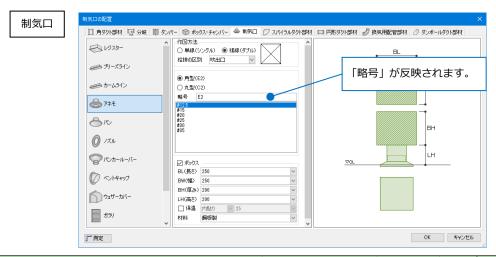
[電気]タブ-[条数記号の設定]横の[▼]-[配線材料の設定]で、材料ごとに分類・名称を変更すると集計表に



ダクト部材

[ダクト]タブ-[ダンパー/制気口の配置]ダイアログで名称と略号を変更すると集計表に反映されます。

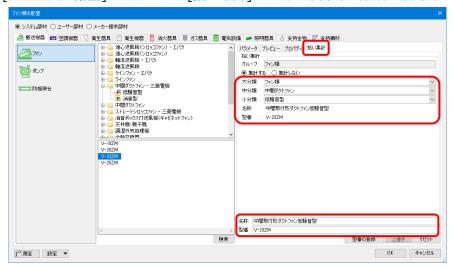


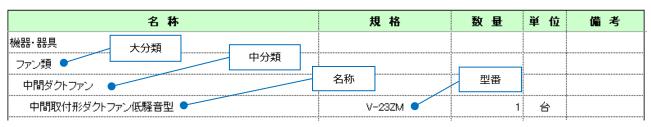




機器器具

[機器器具の配置]ダイアログの[拾い集計]タブで、集計時の分類を設定できます。





[電気]タブの電気単線記号は、記号を選択し、[単線記号の編集]ダイアログの[拾い集計]タブで集計時の分類を設定できます。

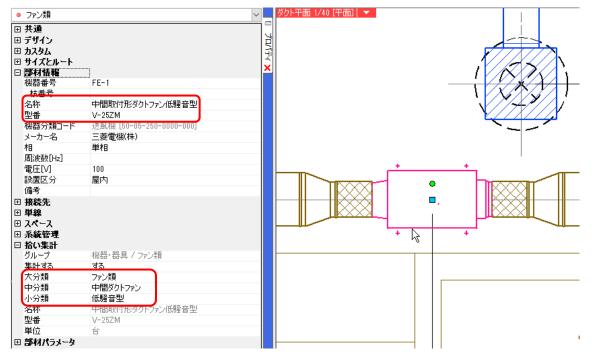


● 補足説明

当社ホームページの「サポートページ」(https://www.nyk-systems.co.jp/support)の「購入者専用サービス」-「資料」で配管継手、ダクト継手の略号、配管と継手の部材名称を公開しています。

プロパティでの変更

配管、継手、機器器具、電気単線記号の名称や略号は、プロパティで個別に変更することもできます。

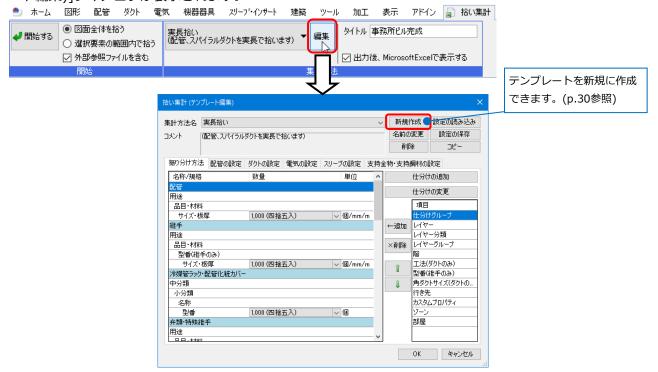


2.テンプレートの設定

テンプレートを設定します。集計の振り分け方や拾い方、出力時の単位の設定などが行えます。

[ツール]タブ-[拾い集計]より出力するテンプレートを選択し、[編集]をクリックすると、[拾い集計(テンプレ

ート編集)]ダイアログが表示されます。



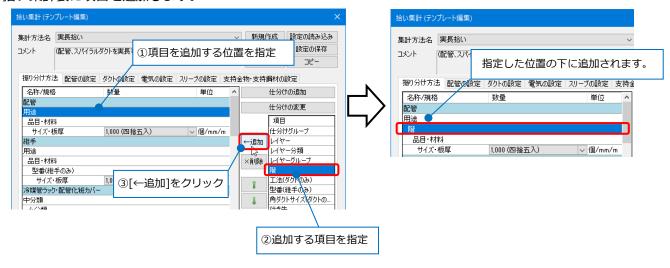
テンプレートの編集

[振り分け方法]タブ

拾い集計をする内容の仕分けを行います。

項目の追加

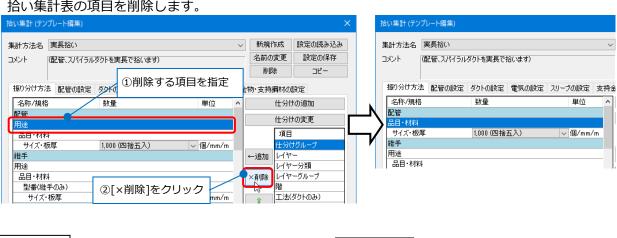
拾い集計表に項目を追加します。





項目の削除

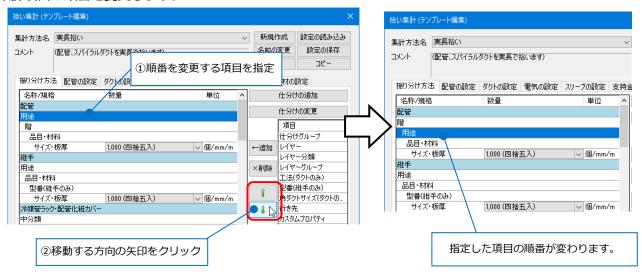
拾い集計表の項目を削除します。





順番の変更

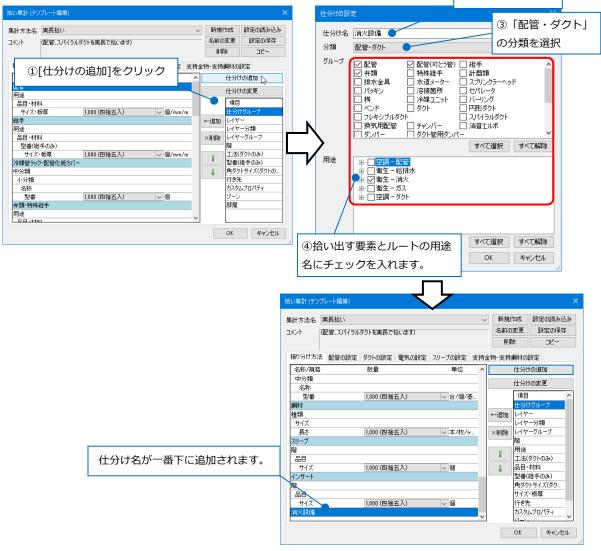
集計項目の順番を変更します。





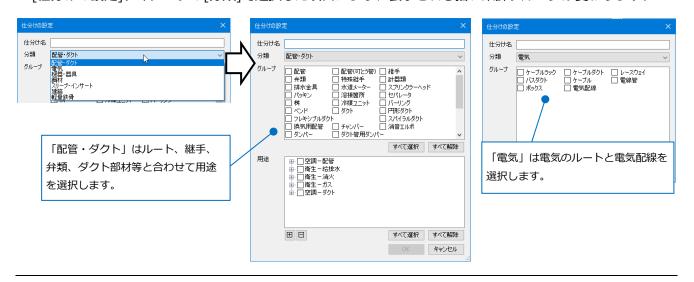
仕分けの追加

仕分けを追加します。[仕分けの設定]で選択したグループまたは、グループと用途の組み合わせに該当する要素の材料を集計します。 ②仕分け名を入力



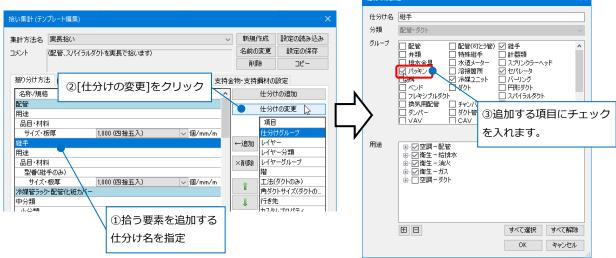
● 補足説明

[仕分けの設定]ダイアログの[分類]で選択した項目により、表示される拾い集計グループが変わります。



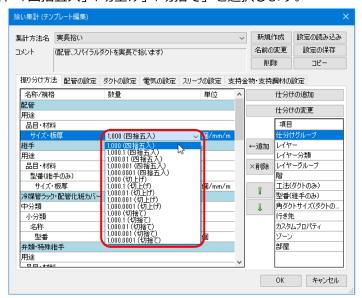
仕分けの変更

設定した仕分けの内容を編集します。



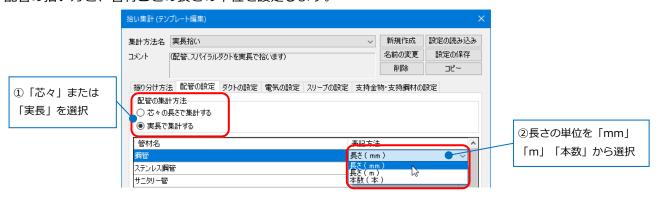
数量の表示桁数

数量の数値は、「振り分け方法]タブで表示桁数や「四捨五入」「切上げ」「切捨て」を選択します。



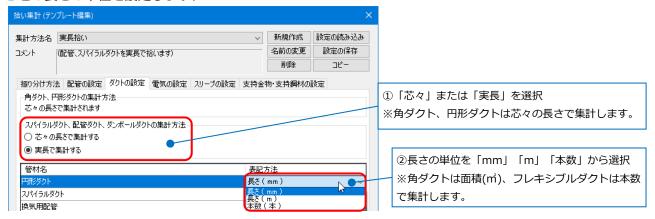
[配管の設定]タブ

配管の拾い方と、管材ごとの長さの単位を設定します。



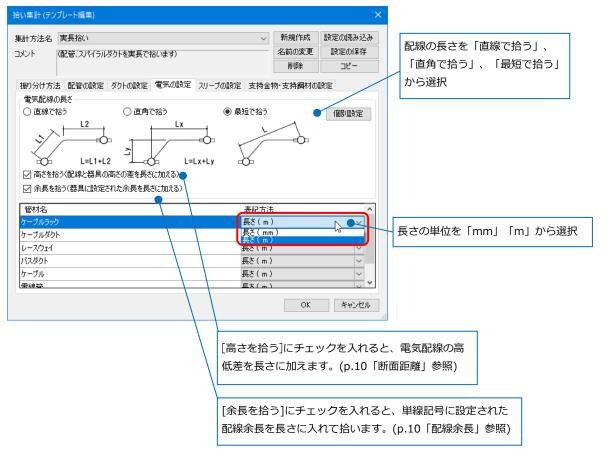
[ダクトの設定]タブ

スパイラルダクト、配管ダクト(塩化ビニル管)、ダンボールダクト、フレキシブルダクトの拾い方と、管材ごとの長さの単位を設定します。



[電気の設定]タブ

電気配線の拾い方、ケーブルラック、ケーブルダクト、レースウェイ、バスダクト、ケーブル、電線管、 電気配線の長さの単位を設定します。



[スリーブの設定]タブ

[長さで拾い分ける]にチェックを入れると、同じ長さのスリーブを集計します。

※鉄骨スリーブはチェックを入れても長さでは拾い分けを行いません。

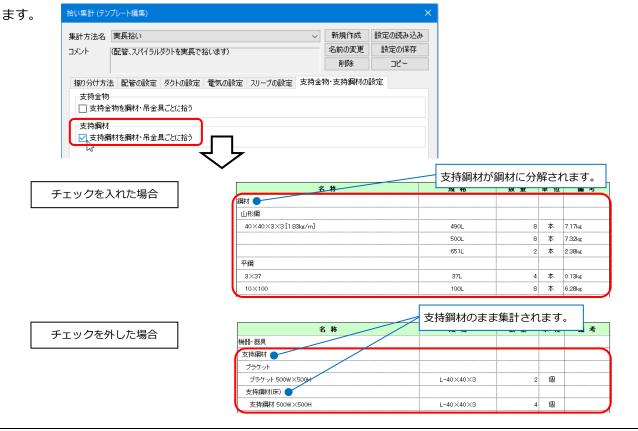


[支持金物・支持鋼材の設定]タブ

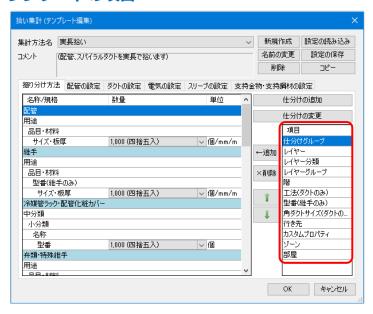
[支持金物を鋼材・吊金具ごとに拾う]にチェックを入れると、支持金物を鋼材と吊金具に分解して拾い分け



[支持鋼材を鋼材・吊金具ごとに拾う]にチェックを入れると、支持鋼材を鋼材と吊金具に分解して拾い分け

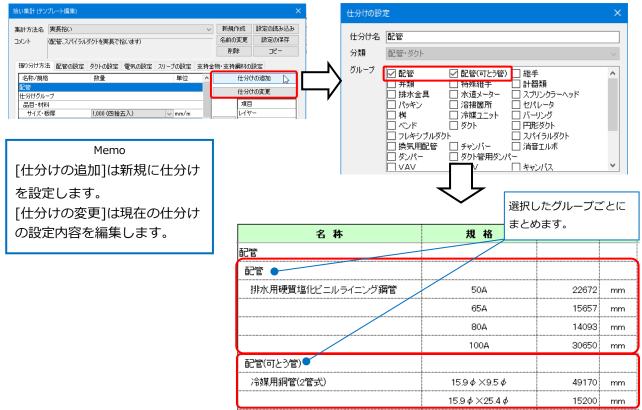


テンプレートの項目

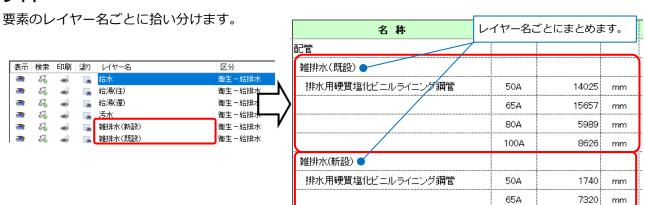


仕分けグループ

[仕分けの追加]または[仕分けの変更]をクリックし、[仕分けの設定]ダイアログの「グループ」でチェックを入れた項目ごとに拾い分けます。

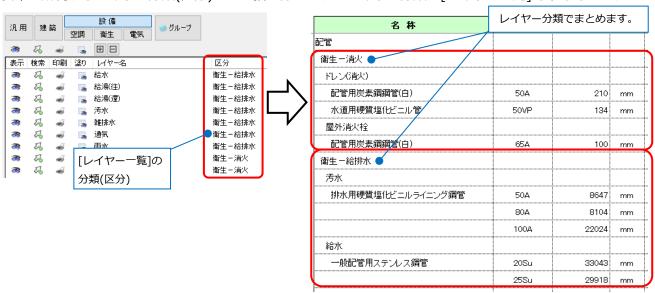


レイヤー



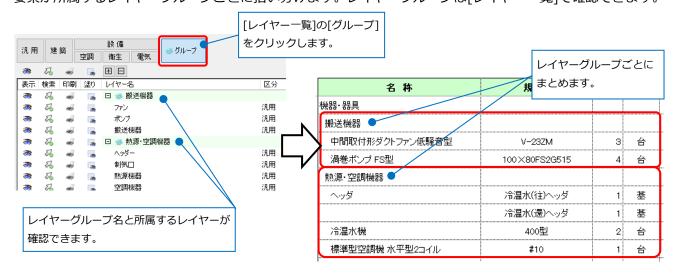
レイヤー分類

要素が所属するレイヤー分類(区分)ごとに拾い分けます。レイヤー分類は[レイヤー一覧]で確認できます。



レイヤーグループ

要素が所属するレイヤーグループごとに拾い分けます。レイヤーグループは[レイヤー一覧]で確認できます。



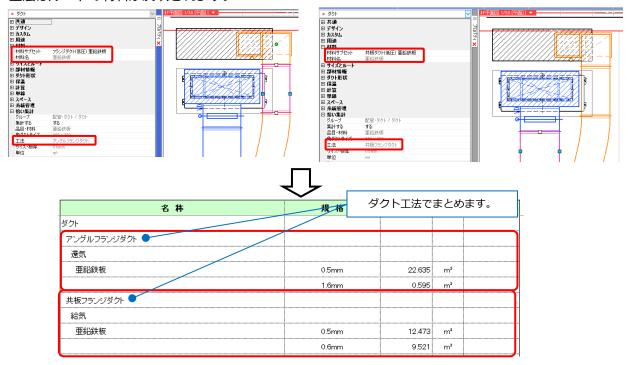
階

要素に設定された基準フロアごとに拾い分けます。

名 粋	規格	数量	単 位	備考	
2°E					
4FL •					
給水					
一般配管用ステンレス鋼管	20Su	20610	mm		
	25Su	19700	mm		**
	30Su	1430	mm	基 基	基準フロアでまとめます。
汚水					
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	100A	4359	mm)	
5FL					
給水					
一般配管用ステンレス鋼管	20Su	33043	mm		
	25Su	29918	mm		
	30Su	1132	mm		
汚水					
排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	50A	8647	mm		
	100A	17665	mm	J	

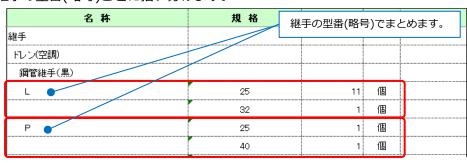
工法(ダクトのみ)

角ダクトで設定している工法(アングルフランジダクト・共板フランジダクト)ごとに拾い分けます。 工法はルートの材料が反映されます。



型番(継手のみ)

継手の型番(略号)ごとに拾い分けます。



角ダクトサイズ(ダクトのみ)

角ダクトのサイズごとに拾い分けます。

名 称	規 格	数 量	単 位	備考
ダクト				
給気				
亜鉛鉄板				
共板フランジダクト				
250×300	0.5mm	2.97	m²	
400×250	0.5mm	6	m²	
400×300	0.5mm	3.504	m²	
500×200	0.6mm	2.083	m²	
550×350	0.6mm	7.439	m²	

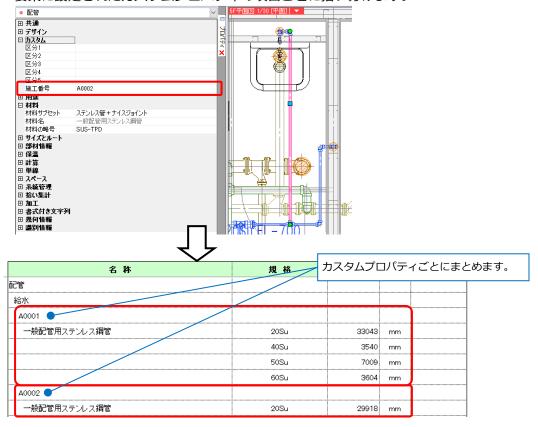
行き先

配管に設定した行き先ごとに拾い分けます。※ポリ管オプションのみ対応。

名 称	規 格	数量	単 位	備考
配管				
給水				
架橋ポリエチレン管 ブルー				
シャワー	XPE(B)-13	3.77	m	•
F1V	XPE(B)-13	3.12	m	
主管	XPE(B)-16	8.77	m	
	XPE(B)-20	0.41	m	
主管(給湯)	XPE(B)-16	7.33	m	

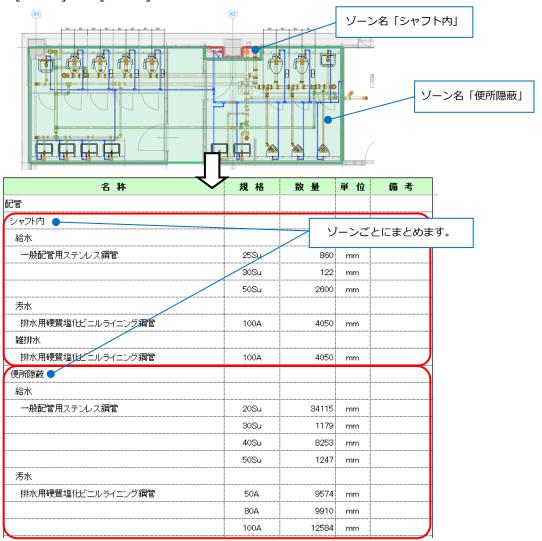
カスタムプロパティ

要素に設定されたカスタムプロパティの項目ごとに拾い分けます。



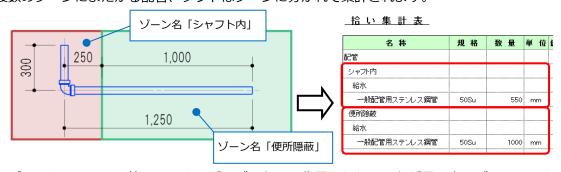
ゾーン

[ツール]タブ-[ゾーン]で設定したゾーンごとに拾い分けます。



● 補足説明

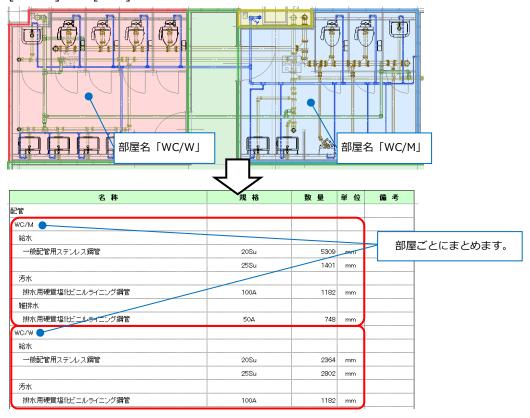
複数のゾーンにまたがる配管、ダクトはゾーンに分かれて集計されます。



スプリンクラーフレキ管、フレキシブルダクトは、作図されたルートが長い方のゾーンにまとめられます。ゾーンが重なる場合は、[ツール]タブ-[ゾーン]の設定順に一つのゾーンにまとめられます。 機器、鋼材は基準点を含むゾーンで集計します。

部屋

[ツール]タブ-[部屋]で設定した部屋ごとに拾い分けます。



● 補足説明

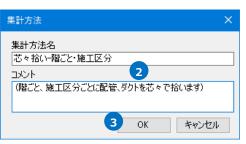
カスタムプロパティ、ゾーン、部屋の詳細については、HPのテクニカルガイド(https://www.nyk-systems.co.jp/support/technicalguide)「カスタムプロパティ・ゾーン・系統管理・部屋」を参照してください。

テンプレートの新規作成

1 [ツール]タブ-[拾い集計]より[編集]をクリック し、[拾い集計(テンプレート編集)]ダイアログの [新規作成]をクリックします。



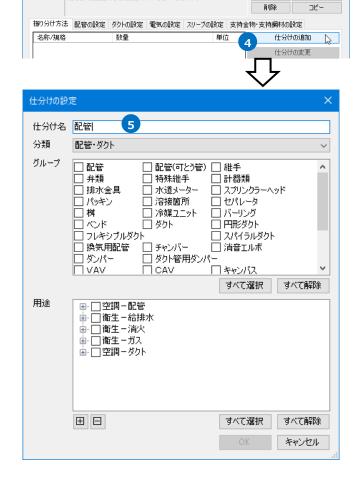
- ② [集計方法]ダイアログで集計方法名、コメントを 入力します。
- ③ [OK]をクリックします。→新規のテンプレートに切り替わります。
- 4 振り分け方法を設定します。[仕分けの追加]をク リックします。
 - →[仕分けの設定]ダイアログが表示されます。
- 5 仕分け名を入力します。



(階ごと、施工区分ごとに配管、ダクトを芯々で拾います)

拾い集計 (テンプレート編集)

集計方法名 芯々拾い-階ごと・施工区分



新規作成 設定の読み込み

設定の保存

名前の変更

6 [分類]をクリックし、集計する材料の種類を選択 します。



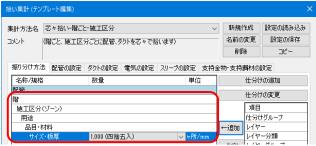
- ブ [グループ]と[用途]で集計する項目にチェックを 入れます。
- 8 [OK]をクリックします。→[振り分け方法]タブに仕分け名「配管」が追加されます。



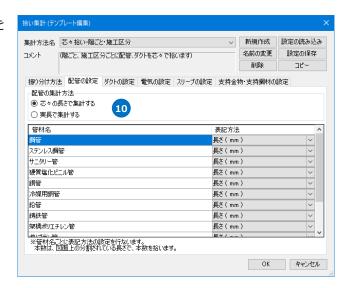
9 追加した仕分けに項目を設定します。項目をクリックし、[追加]ボタンをクリックします。

項目を追加する毎に選択した行の下に1字下げ て追加されます。





10 [配管の設定]タブに切り替え、配管の集計方法を 設定します。配管の集計方法、管材ごとの長さ の単位を設定します。



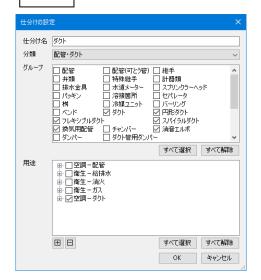
11 [振り分け方法]タブに戻り、配管と同様に拾い集 計表に計上する項目を[仕分けの追加]で設定しま す。



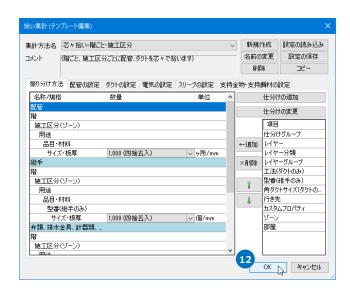
弁類、排水金具、計器類、消火器具



ダクト



12 振り分けの項目を各仕分けごとに追加し、[OK] をクリックして、テンプレートを保存します。



13 作成したテンプレートがリボンのドロップダウン リストに追加されます。



テンプレートの保存・読み込み

作成したテンプレートを他のPCに受け渡します。

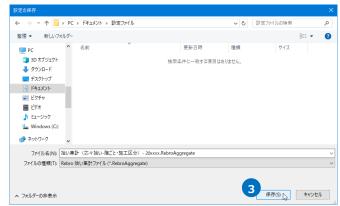
テンプレートを保存する

- 1 [ツール]タブ-[拾い集計]より保存するテンプレートを選択して[編集]をクリックします。
- 2 [拾い集計(テンプレート編集)]ダイアログより [設定の保存]をクリックします。





- (3) [設定の保存]ダイアログでファイル名を入力して [保存]をクリックします。
 - →拾い集計のテンプレートファイル (*.RebroAggregate)が作成されます。



テンプレートを読み込む

- (ツール)タブ-[拾い集計]より[編集]をクリック します。
- (2) [拾い集計(テンプレート編集)]ダイアログより [設定の読み込み]をクリックします。
- 3 [設定の読み込み]ダイアログから拾い集計のテンプレートファイル(*.RebroAggregate)を選択し、[開く]をクリックします。
 →テンプレートが追加されます。





